

# 甲斐市立竜王南小学校 自己評価(後期)

平成26年2月7日(金)作成

学校長 太田 充 | 記述者 職名：主幹教諭 氏名：小西一彦

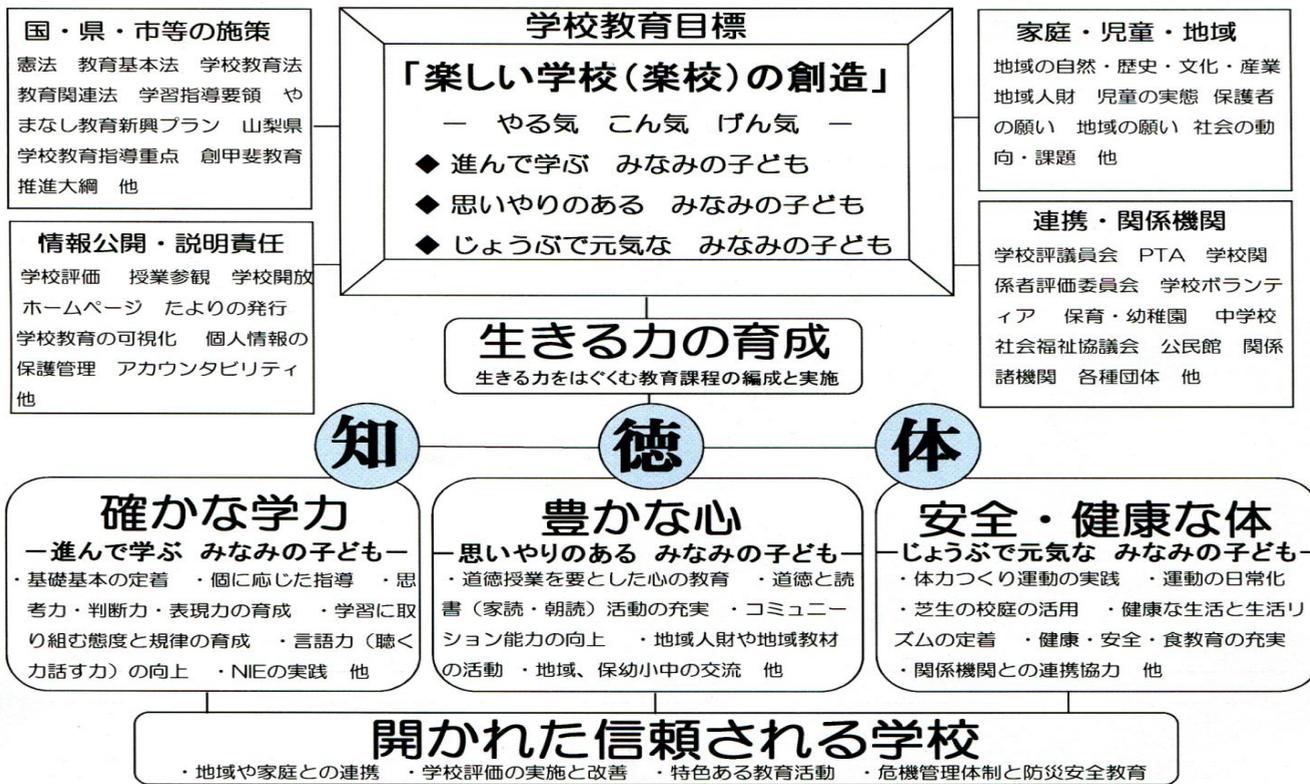
## ◇ 本年度の学校教育目標

### 「楽しい学校(楽校)の創造」 -やる気 こん気 げん気-

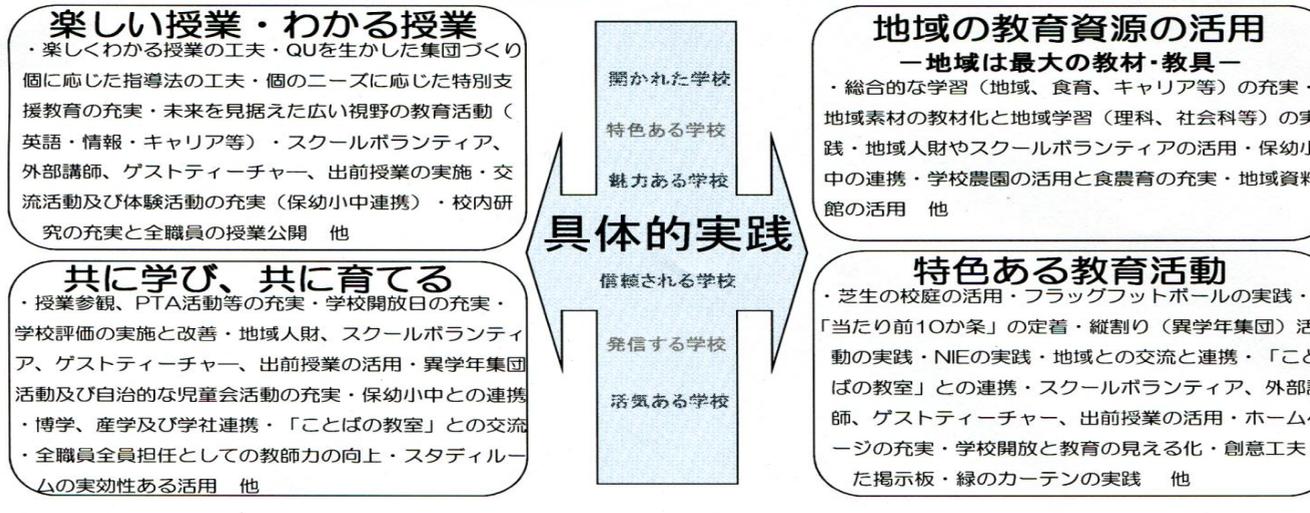
#### ○ 具体目標(めざす子ども像)

- ・ 進んで学ぶ **みなみの子ども** (知育・確かな学力)
- ・ 思いやりのある **みなみの子ども** (徳育・豊かな心)
- ・ じょうぶでげん気な **みなみの子ども** (体育・健康な体)

## 平成25年度 竜王南小学校グランドデザイン (全体計画)



**平成25年度 学校経営の中核**  
 達成感・満足感・成就感・充実感に支えられた楽しい学校・学級・授業をめざして  
 楽しさの意味と深まりを大切に教育活動の創造と実践  
 どの子にも居場所と出番のある学校・学級・授業をめざして  
 当たり前前10か条のことが当たり前前10か条でできる きれいな学校をめざして  
 基本的な生活・学習習慣「当たり前前10か条」の定着と拡大



# I 平成25年度 甲斐市立竜王南小学校「学校評価」の経過

## ①前期日程

日時	実施内容	備考
5月31日 (金)	各クラスへ自己評価及び児童用アンケート配布	終礼にて提案 ・自己評価及び児童用アンケート配布
6月3日 (月)	自己評価実施開始 ・児童用アンケート実施開始	
6月7日 (金)	自己評価実施 ・児童用アンケート回収	自己評価→終礼時に一斉に実施 ・児童アンケート→主幹の机に提出 *シートの回答者欄は必ず確認
6月12日 (水)	自己評価送付 ・児童アンケート送付	・教育総務課集配→委託業者
7月10日 (月)	自己評価書作成完了(主幹)	・完成した評価を校長・教頭へ提出(監査を受ける)
7月12日 (金)	自己評価書校内報告	終礼にて報告
7月19日 (金)	学校関係者評価委員会開催 PM7:30- 会議室	・出席者:学校関係者評価員・校長・教頭・主幹・生徒指導主任
7月22日 (月)	学校関係者評価書作成完了(主幹)	・完成した評価を校長・教頭へ提出(監査を受ける)
7月29日 (月)	学校関係者評価書校内報告	・校内研の中で報告
7月31日 (水)	自己評価書+学校関係者評価書提出	・市教委提出
8月下旬 ( )	自己評価書+学校関係者評価書HP公表(市教委確認後)	・情報担当(西川)HPアップ
8月29日 (木)	定例教育委員会報告	

## ②後期日程

日時	実施内容	備考
11月15日 (金)	各クラスへ自己評価 ・保護者アンケート ・児童用アンケート配布	・終礼にて提案 ・自己評価及び保護者アンケート、児童用アンケート配布
11月22日 (金)	保護者アンケートを全児童数配布	保護者には、お知らせとセットで配布
11月25日 (月)	自己評価実施 ・児童用アンケート回収 最終回収日:11/27(水)	・自己評価→終礼時に一斉に実施 ・児童アンケート→主幹の机に提出 *シートの回答者欄は必ず確認
11月25日 (月)	保護者アンケート回収	・担任へ提出(懇談の際に提出でも可) *シートの回答者欄は必ず確認
12月9日 (月)	自己評価送付 ・児童アンケート送付	・教育総務課集配→委託業者
1月20日 (月)	学校関係者評価委員会開催の通知配布	
2月10日 (月)	自己評価書作成完了(主幹)	・完成した評価を校長・教頭へ提出(監査を受ける)
2月14日 (金)	自己評価書職員報告(主幹)	・終礼にて、自己評価書を全職員へ報告する。
2月21日 (金)	学校関係者評価委員会開催 PM7:30- 会議室	・出席者:学校関係者評価員・校長・教頭・主幹・生徒指導主任
2月25日 (火)	学校関係者評価書作成完了(主幹)	・完成した評価を校長・教頭へ提出(監査を受ける)
2月26日 (水)	学校関係者評価書校内報告	・終礼にて報告
2月28日 (金)	自己評価書 ・学校関係者評価書 教育総務課提出	・教育総務課提出(主幹)
3月3日 (月)	・ランドデザイン作成完成	・校長・教頭・主幹確認
3月7日 (金)	・ランドデザイン校内報告	・終礼にて報告
2月28日 (金)	・定例教育委員会へ集計結果報告	・教育総務課
3月17日(月)- 3月20日(木)	自己評価、学校関係者評価、 ランドデザインHP公表 ・結果の公表(保護者地域)	・情報担当(西川)→HPアップ ・家庭数配布 ・地域関係者へ郵送
3月27日 (木)	自己評価書、 学校関係者評価書の報告	・定例教育委員会

## II 全体評価

昨年度は、後期学校評価において、家庭や地域との連携については「教育の見える化」「教育の透明化」を常に念頭に置くことが確認された。よって、学校行事等において、より具体的に伝わるよう写真やイラスト、パワーポイントなどを使い、より周知徹底を行うことを改善してきた。また、HPによる発信を積極的に行い、保護者や地域の理解をさらに深め、学校へ協力してもらえ体制を改善していくことを確認し、実行に移してきた。

前期の評価において、昨年度の成果が随所で見られるようになってきたことが挙げられた。2学期は、運動会、授業公開、音楽集会などの学校行事や校外学習、ゲスト授業などで「楽しい学校」「楽しい学年」「楽しい学級」をめざして、精力的な取り組みが職員一人ひとりに見られたといえる。特に、Q-U分析から学級経営改善を図るとともに、工夫した授業、教材教具の開発など児童が興味関心をもって、主体的に活動していける取り組みが行われた。さらに、特別支援教育視点からの児童理解も職場全体に浸透し、児童指導のみならず、保護者対応にも誠実に、スピーディに対応していく姿が見られた。こうした職員の努力が「落ち着いた、安心なクラスを」築き上げ、児童の出番と居場所が確保されたのではないだろうか。

昨年度からの取り組みが成果を挙げつつあると、数字的にも表れてきたといえる。こうした取り組みは、PTA活動や保護者-地域への理解にもつながり、学校-保護者-地域との連携の定着に近づいているといえる。

### III 各項目ごとの評価

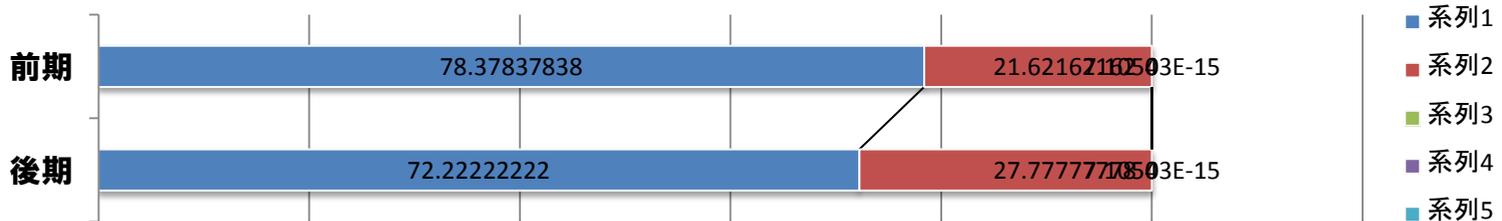
\*系列1(そう思う)系列2(ややそう思う)系列3(ややそう思わない)系列4(そう思わない)系列5(わからない)

#### 1 学校教育目標・学校経営について

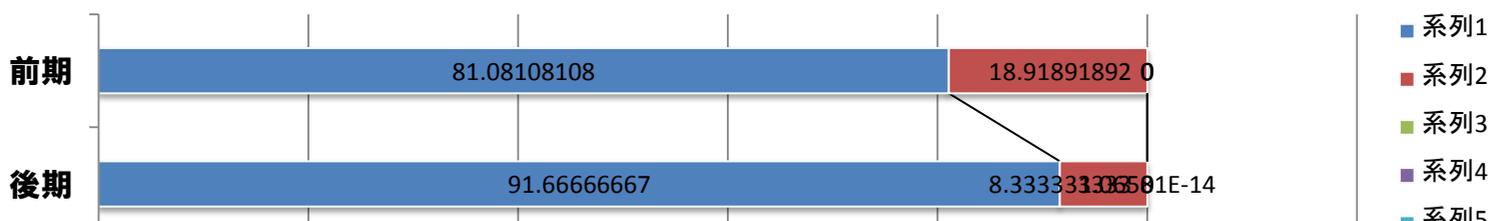
1 あなたの学校は、学年の教育活動計画が、教育目標や重点目標を踏まえたものになっている。



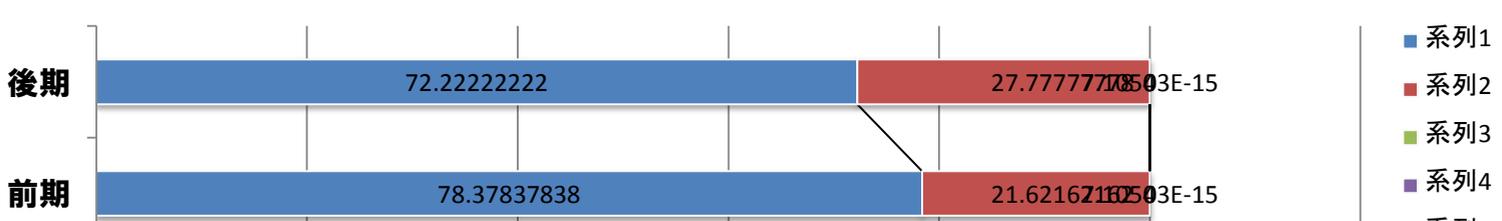
2 あなたは、学校経営方針に基づき、教育活動を行っている



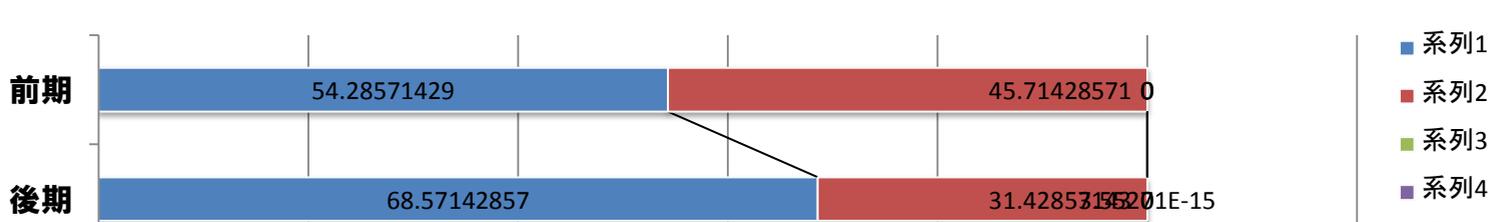
3 あなたの学校は、学年の教育活動計画が、教育目標や重点目標を踏まえたものになっている。



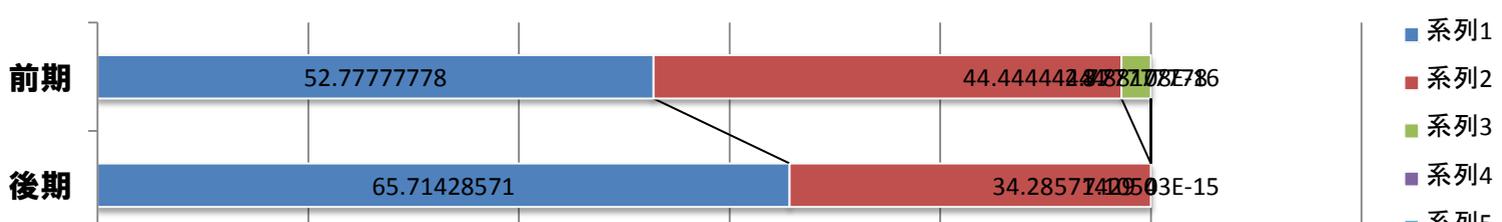
4 あなたは、学校の教育活動計画に基づき、実態に即した教育実践を行っている。



5 学校は、P→D→C→Aサイクルで、教育活動が取り組まれている。



6 あなたの学校は、職場の福利厚生や健康管理について配慮がなされている。

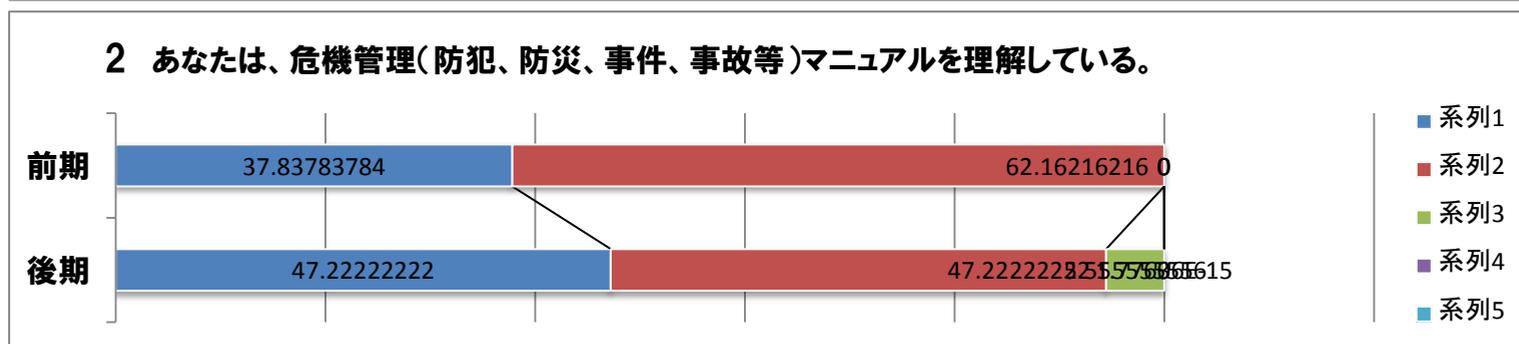
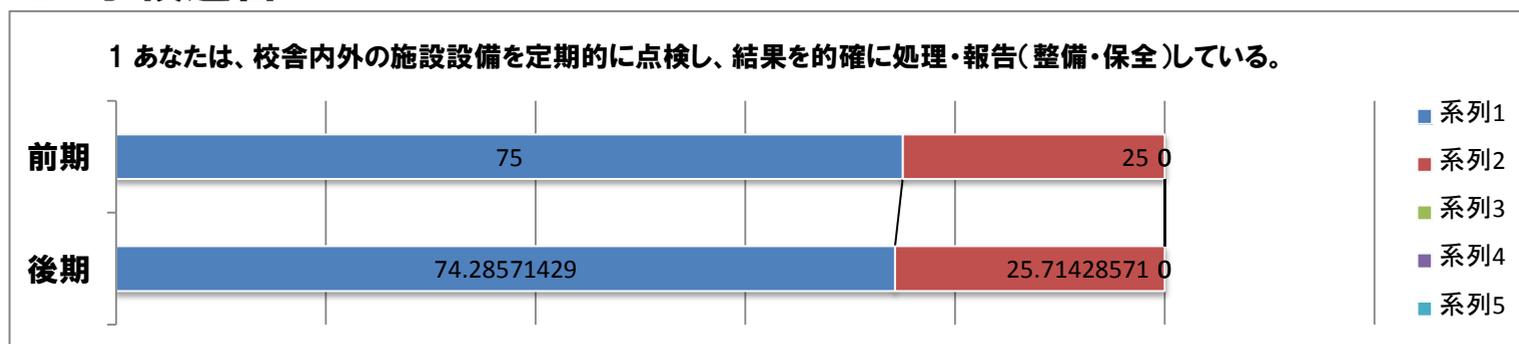


学校教育目標・学校経営については、A（そう思う）+B（ややそう思う）ですべての項目で100%の回答があった。昨年度より学校長が推進してきた学校教育目標「楽しい学校（学校）の創造」が理解され、浸透してきた証であるといえる。また、校内研を通じて、学年経営、クラス経営をはじめとして、児童理解を基本に進めてきた結果であろう。

PDCAサイクルによる教育活動は、A（69%）であるが、昨年より少しずつ「そう思う」が伸びてきている。ここにも、学校長のKeep & Changeの意識改革が反映しているといえる。職員に学校を変えていこうとする意識が芽生えつつあり、児童を中心とした楽しい授業を心がけていこうとする気持ちの表れが数字に表れていると考えられる。

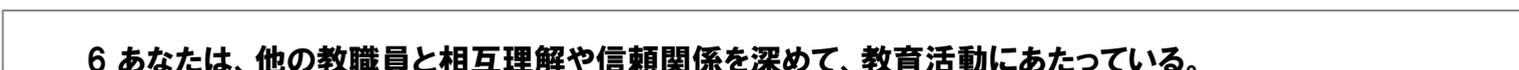
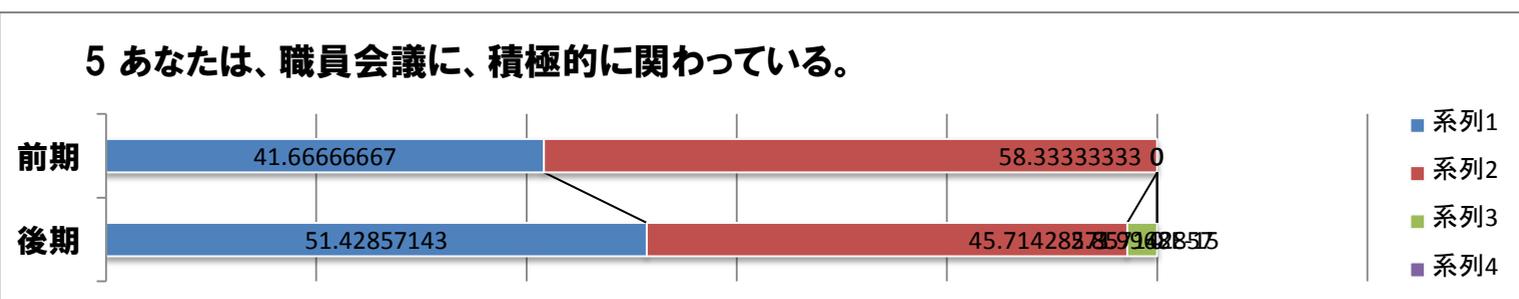
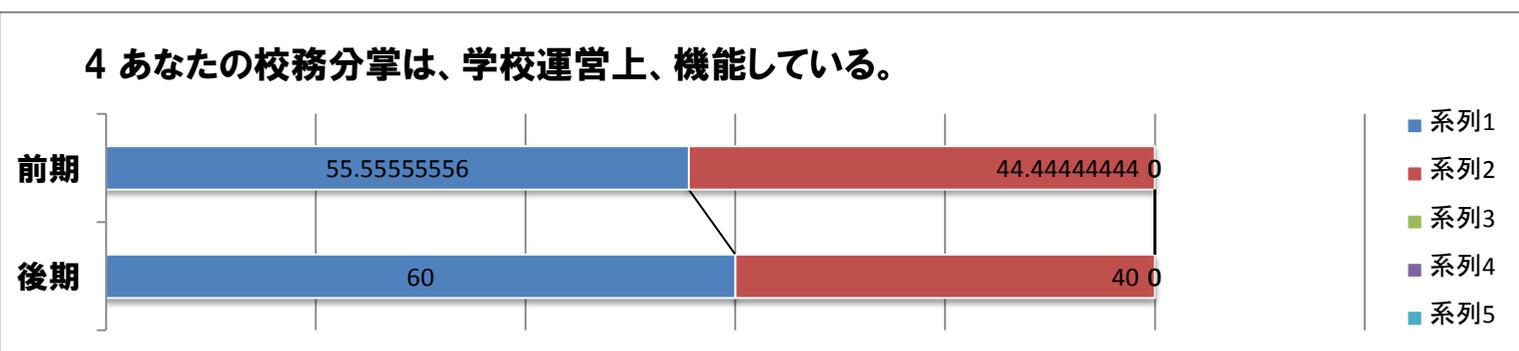
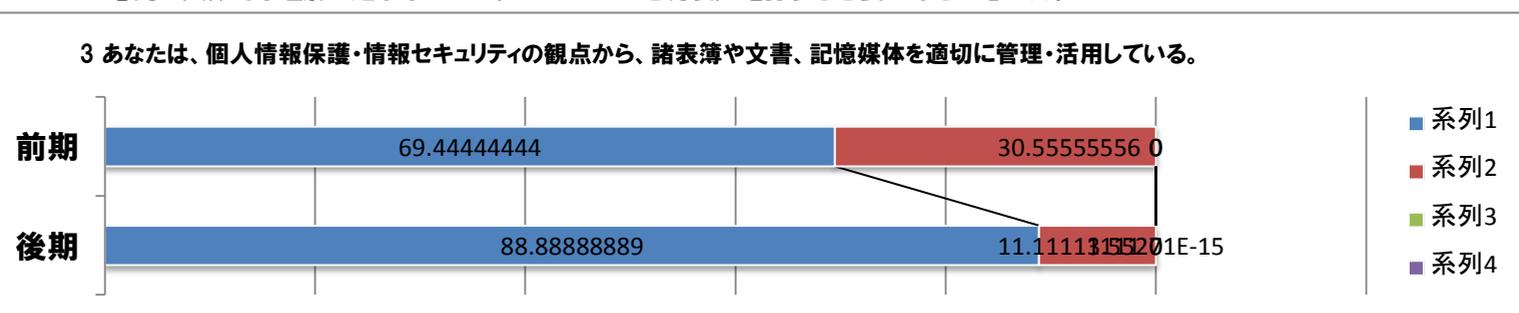
職場の福利厚生及び健康管理についても、前期評価より向上しており、福利厚生事業の積極的取り組みやいつでも相談できる環境作りに努めた結果、安心できる職場体制が整えつつあるといえるだろう。

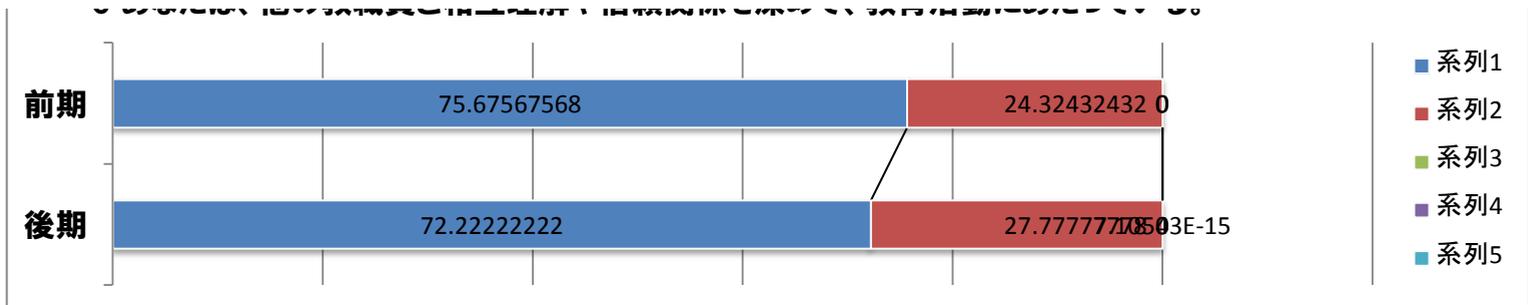
## 2 学校運営について



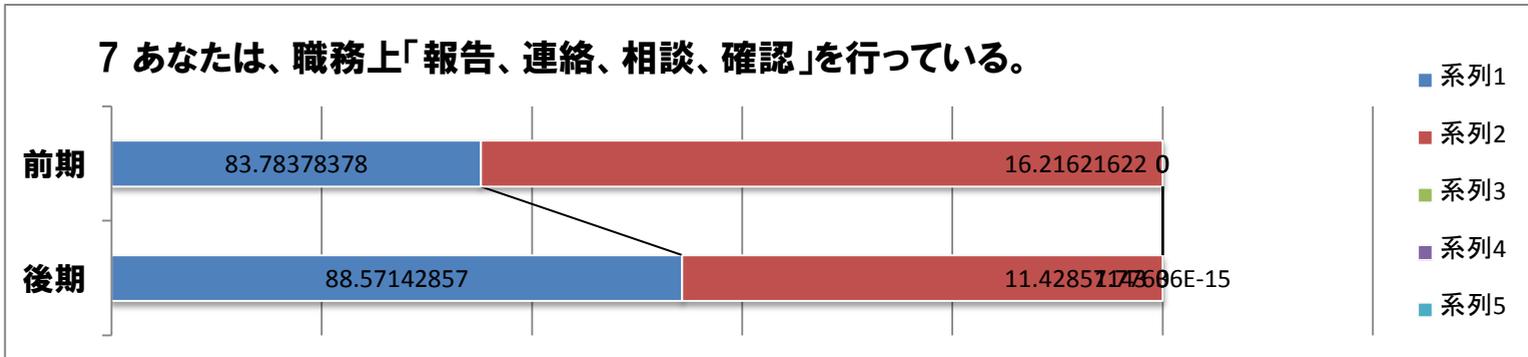
\*意見：細かいところとなると、不十分なところもあると思う。

\*意見：具体的な理解が足りないので、マニュアルを再度、確認する必要があると感じた。

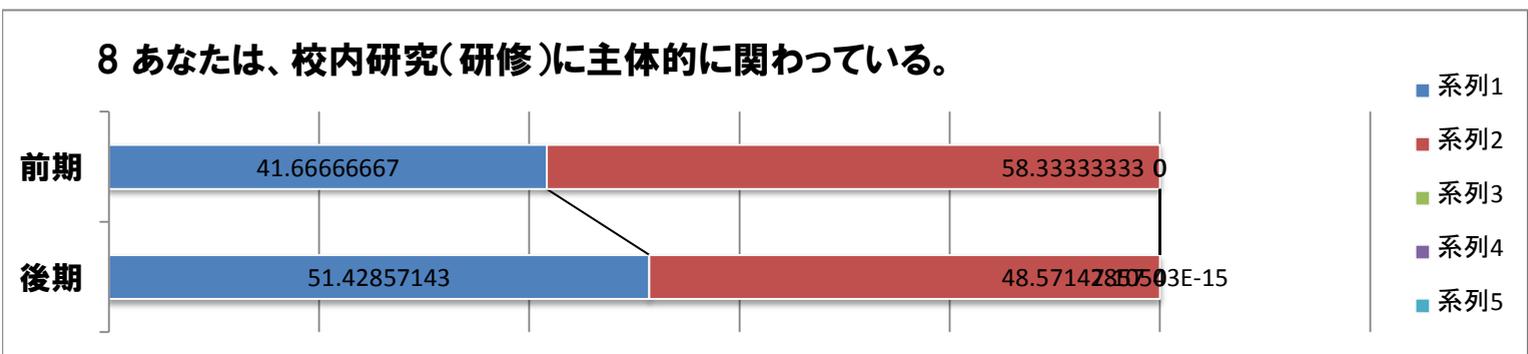




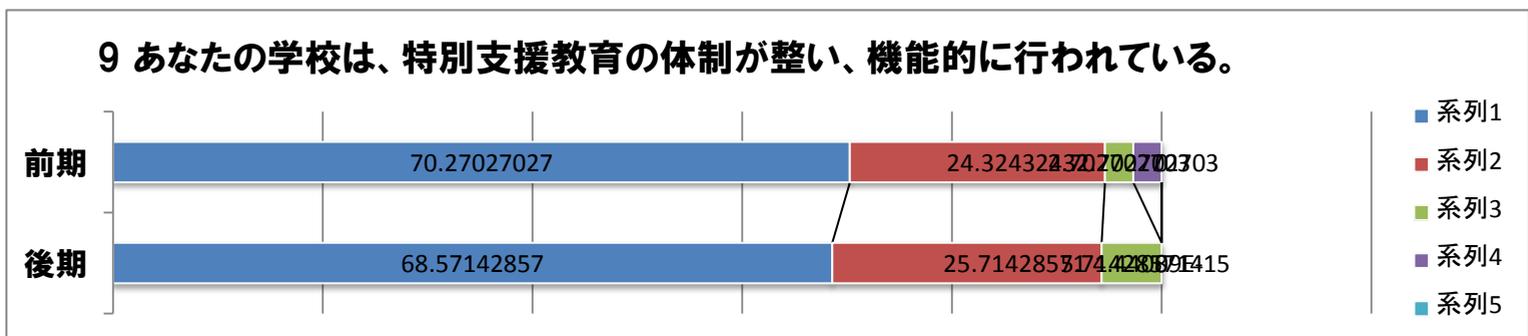
**7 あなたは、職務上「報告、連絡、相談、確認」を行っている。**



**8 あなたは、校内研究(研修)に主体的に関わっている。**



**9 あなたの学校は、特別支援教育の体制が整い、機能的に行われている。**



\*意見：各クラスの支援が必要な子の取り出し指導が行われなかったため、来年は行ってほしい。

\*意見：個別指導が必要な児童への指導が計画のみで一部しか行われていなかったため、来年度は是非取り組んでほしいと思う。

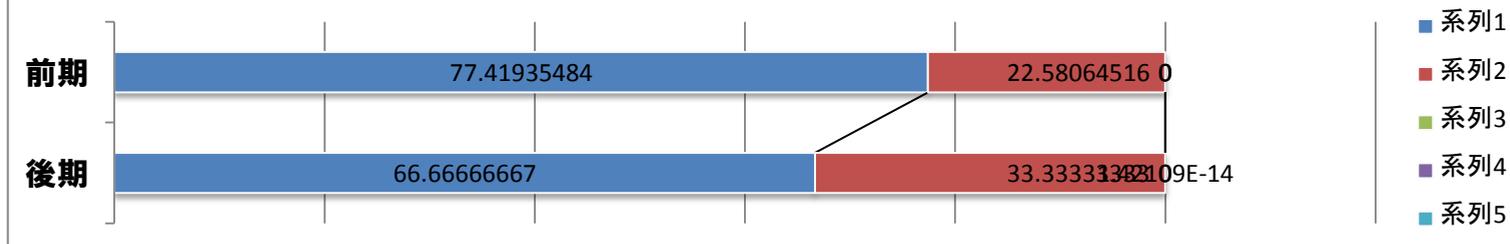
後期においては、2・5・9の項目にC評価が見られた。2においては、マニュアルの確認が不十分な部分があると認められるので、早急に児童の安全・安心を最優先していくためにも、見直しを図りつつ、共通理解していきたいと考える。今年度は、防災訓練を増やし、不審者対策訓練も取り入れただけに来年度に向けて、具体的に組み込まなければならない。5については、意見が記載されていなかったため、具体的な考察はできないが、本人の反省による部分であろうと推測できる。しかし、職員会議に積極的に関わっていけるように、企画を工夫していかなければならないだろう。9については、個別指導体制についての提案、取り組みがしっかり伝わっていなかったことが原因であった。説明により、理解を得たが、全体に関わることだけに、わかりやすい提案と実施過程を伝えていかなければならない。

全体としては、A+Bで95%以上の回答をいただいているので、学校運営についても職員一人ひとりの努力がうかがえる。昨年度は9の特別支援教育にD評価が見られただけに、意見をいただく中で、特別支援教育体制も整いつつあると感じている。

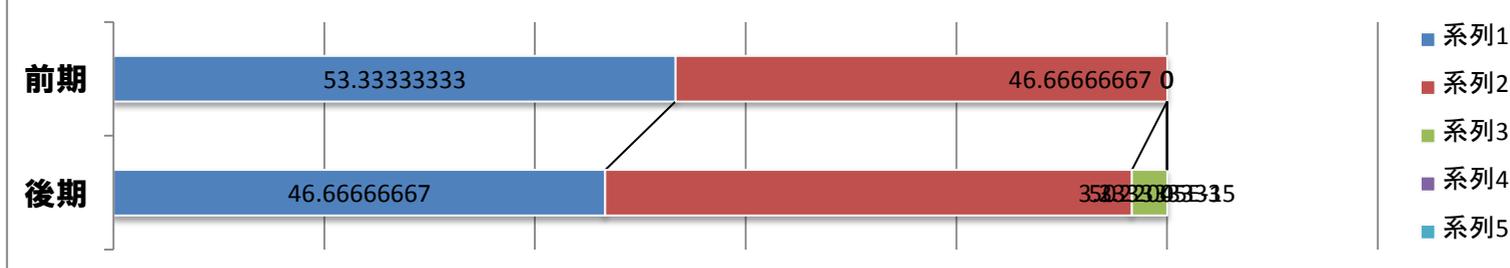
来年度は、PDCAサイクルのもと、改善を試み、さらに、子どもたちに通じる教育が反省される学校運営を進めていきたいと考える。

### 3 学習指導について

#### 1 あなたは、民主的で規律ある学級・学年・学校集団づくりを行っている。

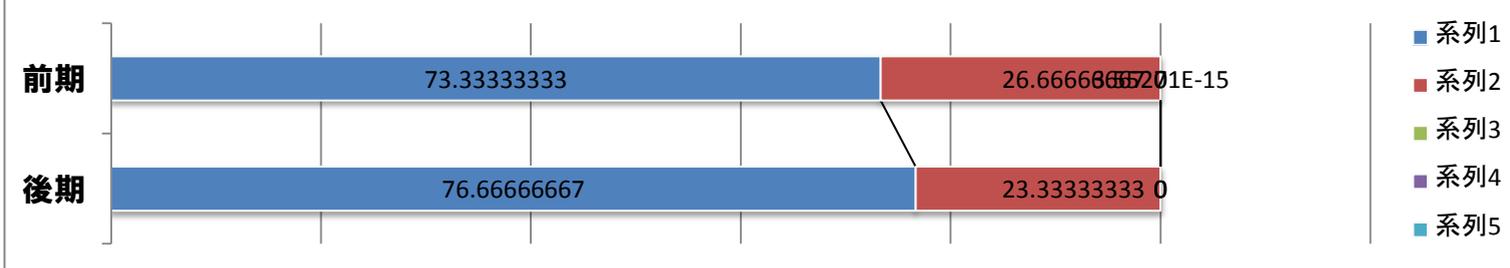


#### 2 あなたは、児童生徒の学びの意欲を喚起する授業を行っている。

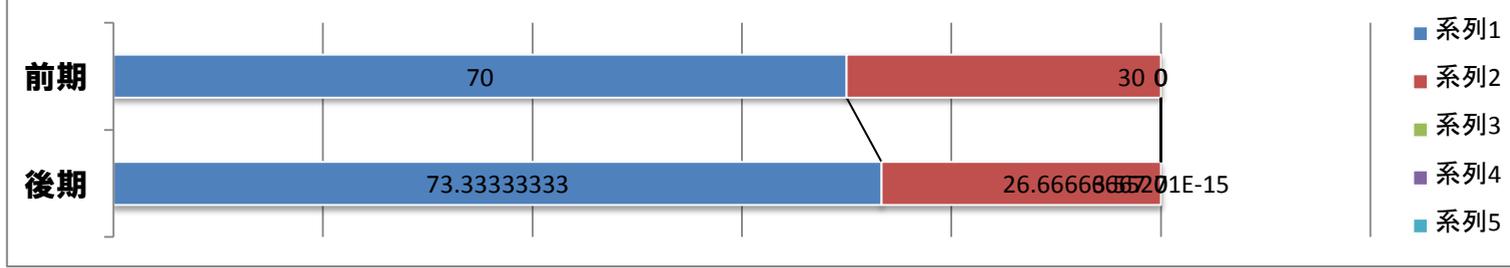


\*意見：まだまだ不十分だと思います。

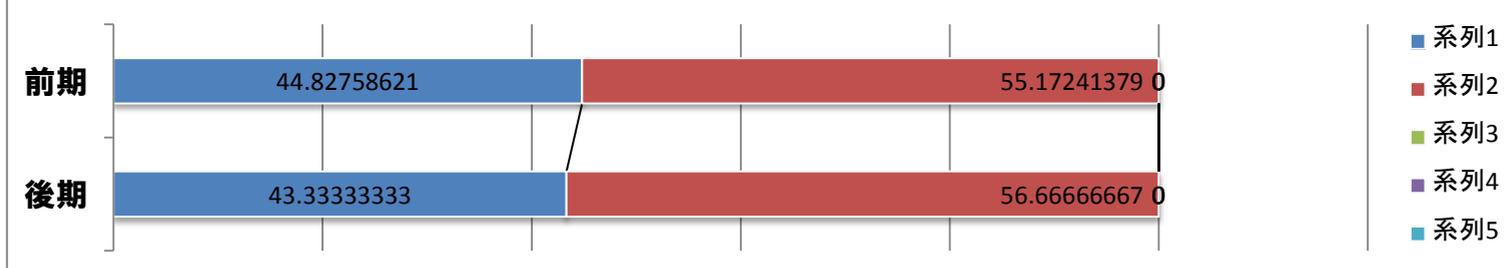
#### 3 あなたは、基礎・基本の定着を図る授業を行っている。



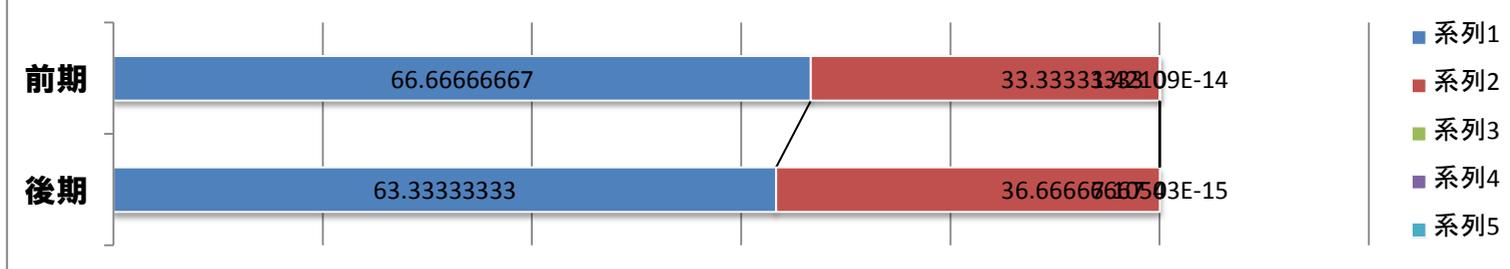
#### 4 あなたは、個に配慮した授業を行っている。



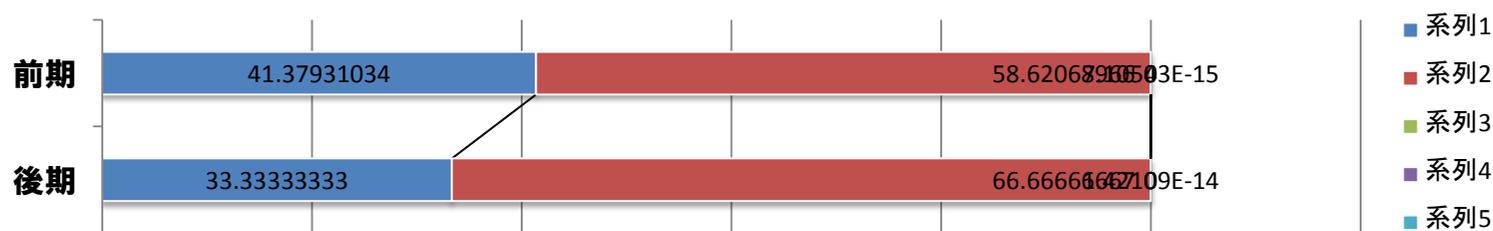
#### 5 あなたは、評価規準と評価方法を明確にした授業を行っている。



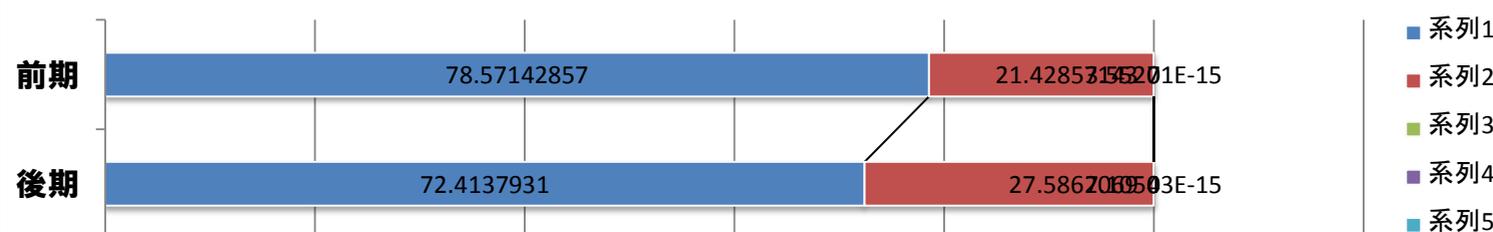
#### 6 あなたは、教材教具や備品等を活用した授業を行っている。



### 7 あなたは、質問や発言が出てくる授業を行っている。



### 8 あなたは、宿題や家庭学習に対する指導を行っている。



### 9 あなたは、教科に必要な指導時間の確保に努めている。



全体的にA評価率は、下がっているものの、95%以上のA+B回答をいただいている。一人ひとりの学習指導の努力は、評価される。昨年度は、E評価及び無効が目立っていただけに、努力を自覚できるだけの取り組みを行ってきたといえる。校内研究や学力向上対策で、「わかる授業」を心がけてきた成果は着実に現れていると考えられる。2において、「まだまだ不十分である。」というご意見をいただいたが、学年及び学級で、結果を分析し、改善を試み、道徳公開、公開研究会で実践してきただけに、来年度の公開研究に向けて、さらに力をつけ、「わかる授業」「楽しい授業」実現に向けて、職員一丸となって取り組んでいきたい。

## 4 生徒指導について

### 1 あなたは、児童生徒理解のためにコミュニケーションを図っている。(対:児童生徒)



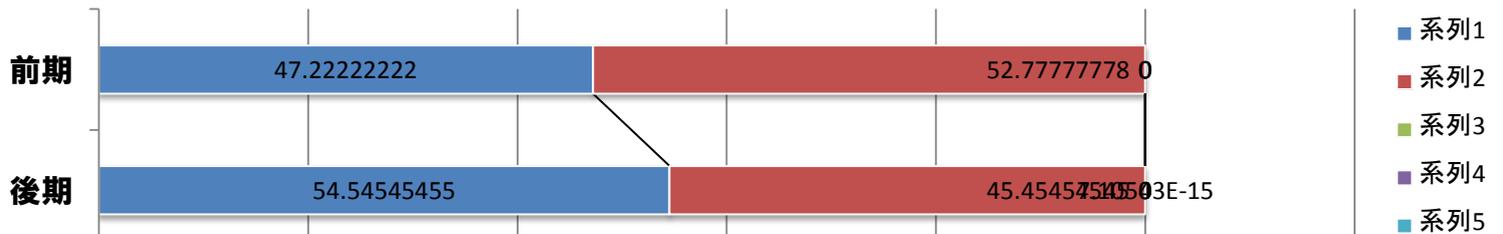
### 2 あなたは、児童生徒の規範意識をはぐくむ指導に取り組んでいる。



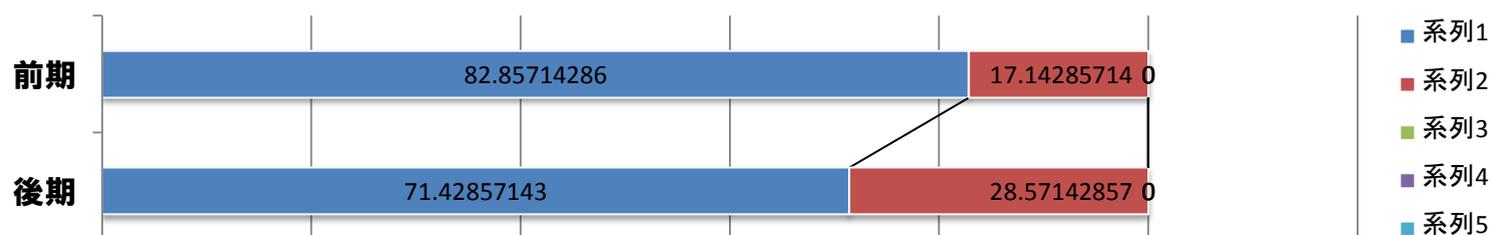
3 あなたは、生き方教育(キャリア教育・進路指導など)を児童生徒の実態に応じて行っている。



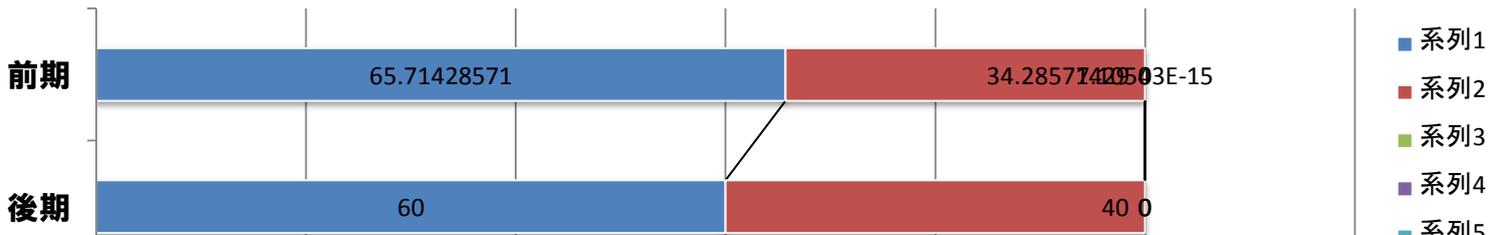
4 あなたは、問題行動(いじめ、不登校等)の早期発見・早期対応ができています。



5 あなたの学校は、職員間で生徒指導上の課題を共有した対応が行われている。



6 あなたの学校は、児童生徒の健全育成のために、学校・保護者・地域及び関係機関との連携が図られている。



7 あなたは、心のノートを活用し、豊かな心を育む指導に取り組んでいる。



前期評価で、2にC評価、3及び7でD評価が見られた。しかし、後期においては、C評価及びD評価が見られなかったことで、職員が児童理解を推進してきたといえる。今年度より自主的に道徳授業参観日を設けるなど、道徳教育の推進を図るとともに、職員はもちろん、保護者や地域にも理解を求める計画を進めてきたことが意識化につながってきているのではないだろうか。

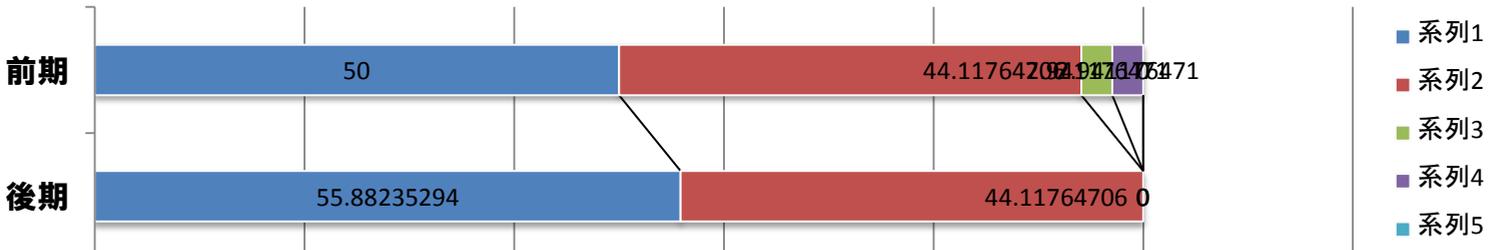
規範意識についても、「当たり前10か条」の取り組みが浸透し、2学期より「家庭の当たり前」が各家庭で取組みられ、児童も基本的な生活習慣の定着が着実に身につき始めている。さらに、生徒指導・特別支援教育委員会（通称：生特委員会）を中心に、児童理解を基本方針に進め、問題行動にすばやく対応してきた取り組みが浸透してきたといえる。問題行動に対しては、常にケース会議を開き、対応策を確認し、その日の内に具体的対応を行ってきたことも全職員体制として、効果的であったと考えられる。

## 5 地域との連携について

1 あなたは、教育活動の中に地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かす指導を行っている。



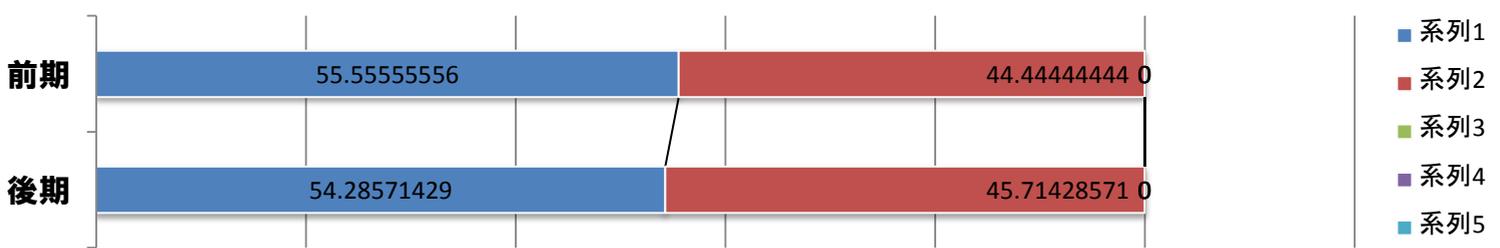
2 あなたは、保護者や地域の願いに応えるため、学校に対する要望等を聞くなどの機会を設け、情報収集を行っている。



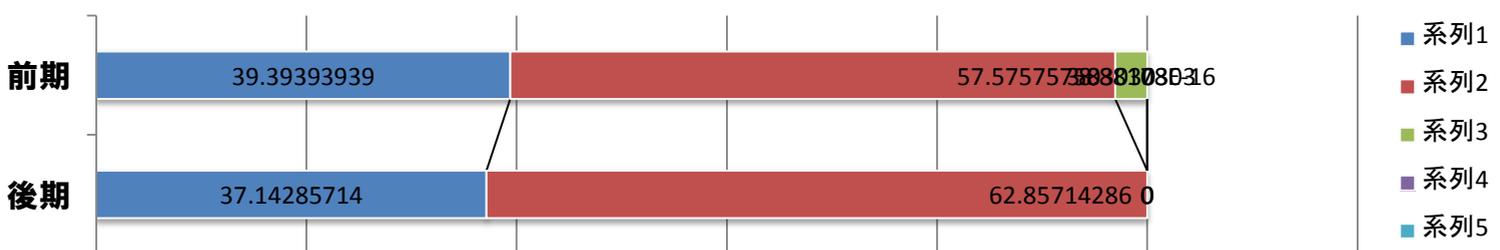
3 あなたの学校は、学校の教育活動について、たよりやホームページを通して保護者や地域に広報している。



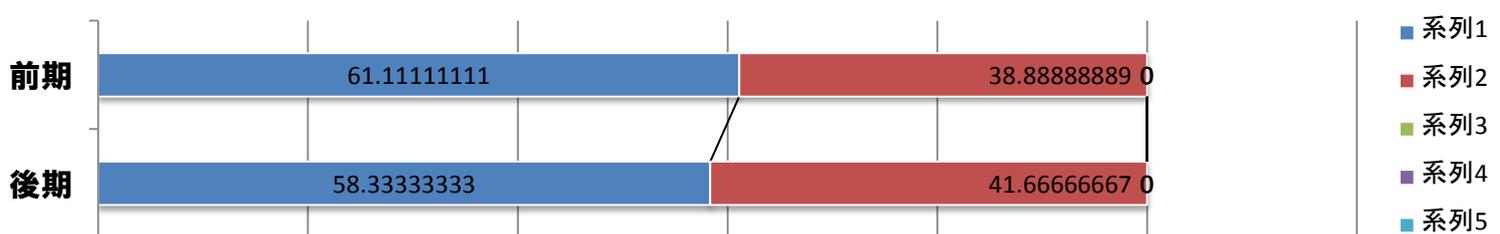
4 あなたは、PTA活動に主体的に参加している。



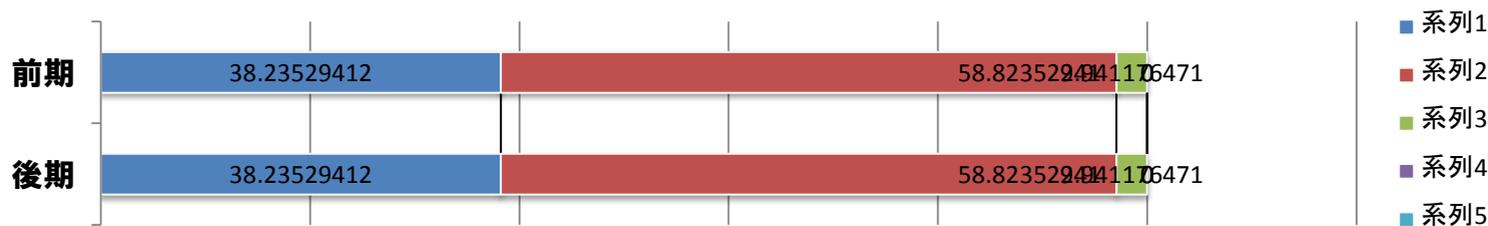
5 保護者は、PTA活動に協力的である。



6 地域・保護者は、児童生徒の安全確保に努めている。

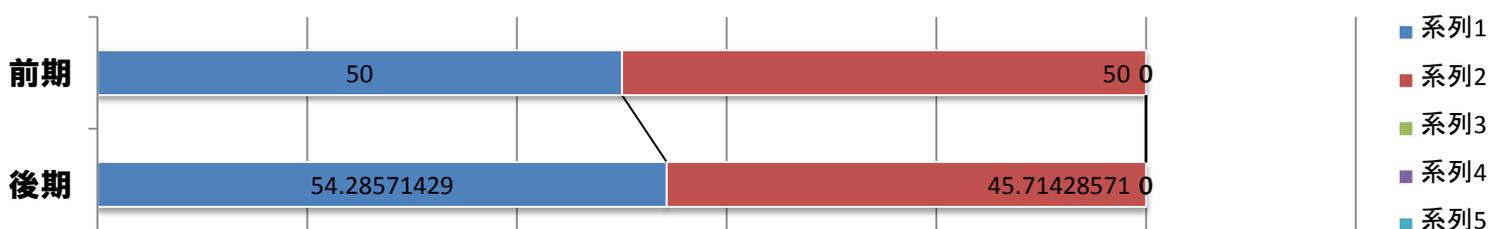


## 7 保護者は、学習指導や生活指導に協力的である。



\*意見：家庭によっては、必ずしも協力的ではない。

## 8 あなたの学校では、学校評議員制度や学校関係者評価委員会の話し合いの結果が学校教育に生かされている。



## 9 あなたの学校は、開放日などを通じて地域に開かれた学校づくりに努めている。



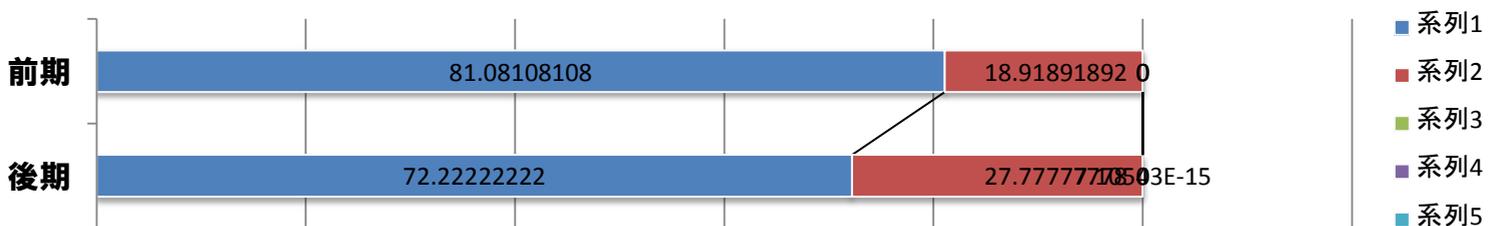
地域人材活用でC+D評価が全体の6%見られた。本人自身の反省と考えられるが、昨年度よりも、ゲストティーチャー授業、地域見学が増えてきたので、着実に地域とつながる取り組みに目が向き始めていると考えられる。来年度は、さらに市バス利用、地域人材開発を通して、地域との連携による上行展開を進めていきたい。

今年度、月に一度は学校に足を運んでもらえるように、学校開放日、授業参観等の回数を増やし、工夫を重ねてきた。また、学級懇談会も取り入れ、職員と保護者との接点は、昨年度以上に近づいてきたのではないだろうか。こうした可視化による取り組みによって、保護者の理解及びPTAの協力も見られはじめ、学校の努力も理解してもらえるようになってきたことが回答からうかがえる。

まだまだ協力的でない部分も見られるが、誠意を持って、すぐに対応する意識を大切に組み込んで行くことで、保護者や地域との距離もさらに縮まり、互いの連携と協力がより一層強くなっていくに違いない。

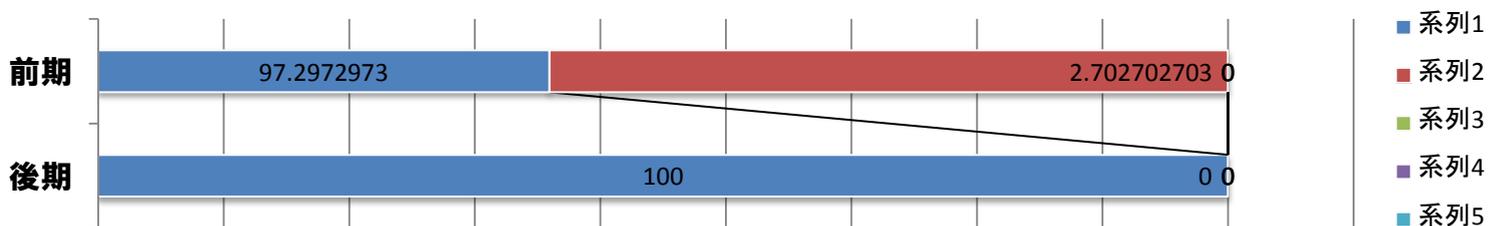
## 6 学校の特色に関して

### 1 児童生徒が進んで挨拶をするよう、指導に努めている。



意見：指導はしているが、なかなかできるようにならない。

### 2 授業参観日や学校開放日を保護者や地域に伝え、定期的実施している。



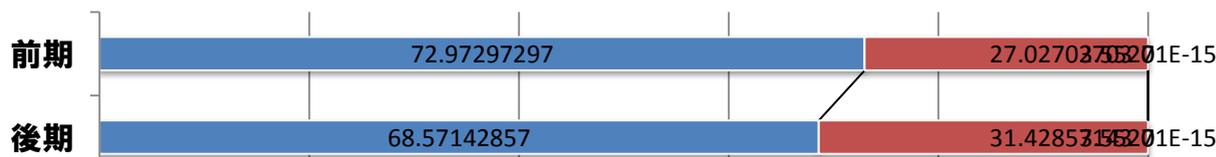
### 3 あなたは、児童が積極的に読書活動に取り組むよう指導に努めている。

- 系列1
- 系列2
- 系列3
- 系列4
- 系列5



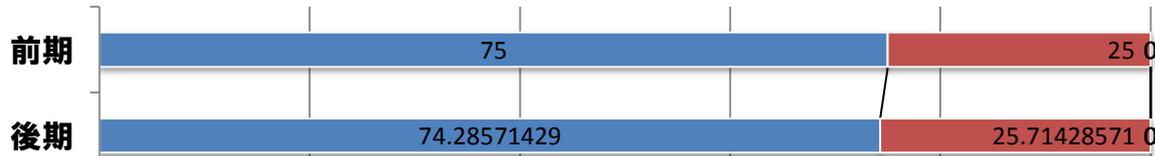
### 4 あなたは、児童が児童会行事に進んで取り組むよう指導に努めている。

- 系列1
- 系列2
- 系列3
- 系列4
- 系列5



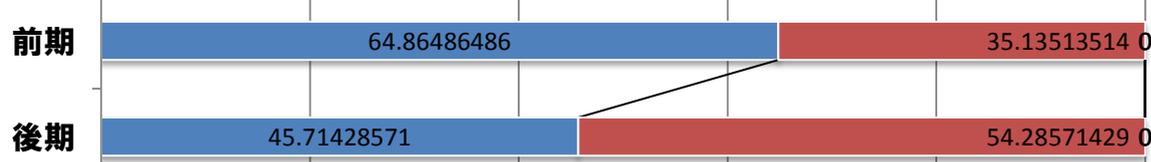
### 5 あなたは、児童に校内の掲示物を進んで読ませるよう指導に努めている。

- 系列1
- 系列2
- 系列3
- 系列4
- 系列5



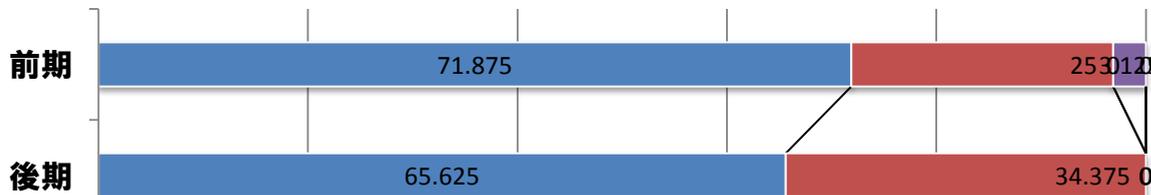
### 6 あなたは、児童が自分の考えを発表できるよう指導に努めている。

- 系列1
- 系列2
- 系列3
- 系列4
- 系列5



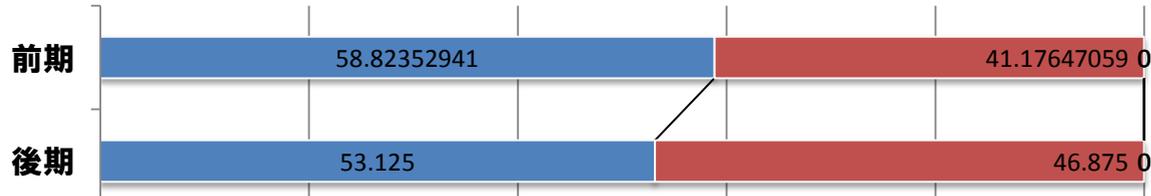
### 7 あなたは、朝学習・朝読書の充実に努めている。

- 系列1
- 系列2
- 系列3
- 系列4
- 系列5



### 8 あなたは、校内研究会のテーマを生かした、教育活動に努めている。

- 系列1
- 系列2
- 系列3
- 系列4
- 系列5



前期評価において、3及び7においてD評価が見られたが、後期においては、改善が見られた。A+B評価も95%以上の回答があり、努力がうかがえる。「当たり前10か条」「校内研究会」「楽しい授業づくり」「校内美化」なども、意識された取り組みが随所で見られるようになり、学校の雰囲気も昨年度と比べ、かなり変わってきたのではないだろうか。こうした意識は、子どもたちにも反映されてきたといえる。

来年度、公開研究会を控え、校内研究会にも熱心に取り組む姿が見られ、2学期のプレ公開研究会での授業では、研究してきたことが様々な場面で見られ、来年度につながる研究が実践されたといえる。基本的な生活習慣、学習習慣に着眼し、取り組んできたことも、研究につながり、効果を挙げつつあるといえる。

その他 \*当たり前十か条が子どもたちに理解され、自主的に行動できるように指導していきたいと思います。